5G通信 Vol.35

いま話題の次世代通信『5G』に関するとっておきの情報をご紹介します

世界最大級のIT祭典 CES 2020

2020年のテクノロジートレンドを占う最初のイベント「CES 2020」が開催。5G関連企業の新技術が披露され、世界中の注目が集まりました

約4,500もの企業が世界中から出展した巨大ITイベント

- 2020年1月7日～10日、米ラスベガスで世界最大級の家電見本市「コンシューマー・エレクトロニクス・ショー（CES）」が開催されました。かつてのCESは「家電」見本市といった位置づけでしたが、最近では様々な先端技術をお披露目する世界的なイベントとして認知が高まっています。
- CESでは、ここ数年AI（人工知能）や5G（第5世代移動通信システム）を活用した新技術や製品の展示が増えてきました。今回のCESにおいても、昨年から世界各国でサービスの商用化が始まった5Gに注目が集まりました。これまでも「5G」といったキーワードを絡めた新技術のコンセプトが展示されることは多くありましたが、今年はより具体的な製品やサービスの展示が増えました。

広がる5G関連企業の協業の輪

- 具体的には、多くの人々にとって最初に5Gを体感する端末となるスマートフォン（以下、スマホ）について、各社から5G対応機種の展示が行われました。今年から、通信用半導体メーカーである米クアルコムが廉価版モデムチップの出荷を計画しており、現在は高価格の5G対応スマホについて普及価格帯のモデルが増えると見られています。今回のCESでも、韓国サムスン電子や中国ファーウェイ等が5G対応新製品を展示し、周辺機器や周辺部品も発表され、5G関連企業間の連携の深化が確認されました。
- また、5Gを活用したサービスの展示も多く、「自動運転」や「スマートシティ」への応用など様々なアプリケーションの展示が行われました。こうしたアプリケーションの起動には、汎用プロセッサー（CPUやGPU）のみならず、アプリケーションに特化した独自設計の半導体を使用する動きが拡大しており、今後の「半導体スーパーサイクル」（第4次産業革命による構造的な半導体需要の増加が長期に渡り続くこと）を予感させる内容でした。
- 2020年は5G対応スマホの普及により、5G関連企業間の連携が「準備段階」から「離陸期」に移行すると見ています。今後2月にスペインで開催されるMWC（モバイル・ワールド・コングレス）で展示される技術・サービストレンドも注目されます。

※写真はイメージ図です。

【 ご留意事項 】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。